

6 高校別概要（特色選抜及び一般選抜）

学 校 名		ページ	特色選抜実施校 (○印)
【全日制課程】			
県立	奈良 朱 雀	高等学校 26	○
県立	国 際	高等学校 28	○
県立	西 の 京	高等学校 30	○
県立	高 山 円	高等学校 32	○
県立	山 添 上	高等学校 36	○
県立	添 階 堂	高等学校 38	○
県立	二 階 堂	高等学校 40	○
県立	奈良 情報 商 業	高等学校 42	○
県立	桜 井	高等学校 44	○
県立	五 條	高等学校 46	○
県立	御 所 実 業	高等学校 48	○
県立	大 宇 陀	高等学校 50	○
県立	榛 生 昇 陽	高等学校 52	○
県立	法 隆 寺 国 際	高等学校 54	○
県立	磯 城 野	高等学校 56	○
県立	高 取 国 際	高等学校 60	○
県立	王 寺 工 業	高等学校 62	○
県立	大 和 広 陵	高等学校 64	○
県立	大 淀	高等学校 66	○
県立	吉 津 野 川	高等学校 68	○
県立	十 津 川	高等学校 70	○
県立	奈 良	高等学校 72	○
県立	奈 高 田	高等学校 72	○
県立	郡 山	高等学校 72	○
県立	檀 原	高等学校 72	○
県立	畝 生 傍	高等学校 73	○
県立	生 駒	高等学校 73	○
県立	奈 良 北	高等学校 73	○
県立	香 芝	高等学校 74	○
県立	西 和 清 陵	高等学校 74	○
【定時制課程】			
県立	奈良 朱 雀	高等学校 75	
県立	畝 傍	高等学校 75	
(参考)			
【市立・村立高等学校定時制課程】			
五條市立	県立五條高等学校 賀名生分校	76	○
山添村立	県立山辺高等学校 山添分校	75	
【市立高等学校全日制課程】			
奈良市立	一 条	高等学校 77	○
大和高田市立	高 田 商 業	高等学校 80	○

奈良朱雀高等学校(全日制課程)

1 特色選抜

(1) 趣旨

【機械工学科】

機械技術の基礎・基本と体験を通して「ものづくり」の大切さを学び、機械系技術のスペシャリストを目指して、各種検定資格取得に意欲的に取り組む生徒を募集します。

【情報工学科】

IT・プログラムを中心に学び、ロボット制御・マルチメディア・ネットワーク技術のスペシャリストを目指して意欲的に取り組む生徒を募集します。

【建築工学科】

あらゆる建築物の構造・計画方法の基本を学び、製図・実験・実習を通して建築技術者を目指して意欲的に取り組む生徒を募集します。

【総合ビジネス科】

簿記、会計、コンピュータの分野に興味・関心をもち、その学習を通してビジネス関係の各種検定資格取得に意欲的に取り組み、将来、会計の専門職（公認会計士や税理士）を目指す生徒を募集します。

【観光ビジネス科】

郷土奈良をいろいろな側面で学習し、商業科目や観光に関する科目はもちろん、ビジネス社会に必要な知識やコミュニケーション能力などを学ぶことにより、常に相手の立場に立って行動できるホスピタリティの精神（おもてなしの心）を育み、将来、観光ビジネスの関連分野を目指して積極的に取り組む生徒を募集します。

【情報ビジネス科】

コンピュータに興味・関心をもち、一般社会や企業で使われている表計算等のソフトウェアの活用方法やプログラムの学習を通して情報処理関係の各種検定資格取得に意欲的に取り組み、将来、職場や地域においてコンピュータの活用を進めるなど、情報化に積極的に取り組むとともにプログラムの開発を目指す生徒を募集します。

(2) 募集人員並びに検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科	募 集 人 員	実施検査の種類と配点等			調査書成績	
		学力検査	面接	検査成績 の満点	調査書において 重視する教科 (加重配点)	調査書 成績の 満点
		国語、数学、英語 の3教科の満点				
機械工学科	各 100%	120	60	180	—————	135
情報工学科						
建築工学科						
総合ビジネス科						
観光ビジネス科						
情報ビジネス科						

《調査書の特別な取扱い》

実施学科	上表のすべての学科
重視する事項	スポーツ、文化活動のいずれかの分野における顕著な実績
合格人数枠	機 械 工 学 科： 7名 情 報 工 学 科： 3名 建 築 工 学 科： 3名 総 合 ビ ジ ネ ス 科： 8名 観 光 ビ ジ ネ ス 科： 4名 情 報 ビ ジ ネ ス 科： 4名
満点	20点（調査書成績の満点：155点）

◆ 第2志望の取扱い

- 順位を付けて2学科まで志願することができる学科の範囲
 - ・機械工学科、情報工学科、建築工学科の3学科の範囲
 - ・総合ビジネス科、観光ビジネス科、情報ビジネス科の3学科の範囲
- 第1志望を優先する割合
 - ・全学科： 9割

(3) 検査に関する事項

[面接]

個人面接： 自己アピール文の内容に基づいて、中学校で取り組んだ活動や入学後の抱負、将来の希望などを問う。1人5分程度。

(4) 日程

令和2年2月20日(木)

検査等	時間	時刻
集合		8:30
学力検査	各30分	9:15 ~ 11:25
(昼食)		
面接		12:15 ~

2 一般選抜

(1) 検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科	実施検査の種類と配点等			調査書成績	
	学力検査	面接	検査成績 の満点	調査書において 重視する教科 (加重配点)	調査書 成績の 満点
	国語、数学、英語 の3教科の満点				
機械工学科 *	150	60	210	—	135
情報工学科 *					
建築工学科 *					
総合ビジネス科 *					
観光ビジネス科 *					
情報ビジネス科 *					

*印が付いている学科は、特色選抜による合格者数が募集人員に満たなかった場合、一般選抜を実施します。

◆ 第2志望の取扱い

- 順位を付けて2学科まで志願することができる学科の範囲
特色選抜に準じます。ただし、特色選抜で第2志望が認められる範囲において、2学科以上で募集がある場合に限ります。
- 第1志望を優先する割合
・全学科： 9割

(2) 検査に関する事項

[面接]

個人面接： 自己アピール文の内容に基づいて、中学校で取り組んだ活動や入学後の抱負、将来の希望などを問う。1人5分程度。

国際高等学校(全日制課程)

国際科は、2つのグループに分けて募集します。
 特色選抜で募集するグループを国際科plus、
 一般選抜で募集するグループを国際科とし、
 グループごとにクラスを編成します。

1 特色選抜

(1) 趣旨

【国際科plus】

国際交流や世界の諸課題に興味・関心をもち、留学や海外大学への進学を目指して主体的に学ぶ生徒を募集します。

(2) 募集人員並びに検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科	募 集 人 員	実施検査の種類と配点等				調査書成績		
		学力検査		学校独自検査	面接	検査成績の満点	調査書において重視する教科(加重配点)	調査書成績の満点
		国語、数学、英語の3教科の満点						
国際科plus	100%	120		50	30	200	———	135

※ 帰国生徒等特例措置の応募資格を有する場合、帰国生徒等特例選抜として、国語の学力検査に代えて作文を実施します。出願手続きの詳細等については、「令和2年度奈良県立高等学校入学者選抜実施要項」をご覧ください。

《調査書の特別な取扱い》

実施学科等	国際科plus
重視する事項	実用英語技能検定準2級以上相当 (CEFR A2レベル)
合格人数枠	12名
満点	10点 (調査書成績の満点：145点)

(3) 検査に関する事項

[学校独自検査]

独自問題 (ライティング) : 英作文等によって英語で表現する力をみる。

口頭試問 : 個人面接方式で英文の音読及び英語による応答によって英語で表現する力をみる。1人7分程度。

※ 学校独自検査は、独自問題 (ライティング) を20点満点、口頭試問を30点満点とします。

[面接]

個人面接 : 自己アピール文を基に、中学校での取組や高校生活への抱負、さらには、将来の希望や国際分野への興味・関心などについて問う。1人5分程度。

(4) 日程

令和2年2月20日 (木)

検査等	時間	時刻
集 合		8 : 3 0
学力検査	各30分	9 : 1 5 ~ 1 1 : 2 5
学校独自検査 (独自問題)	20分	1 1 : 4 5 ~ 1 2 : 0 5

令和2年2月21日（金）

検査等	時間	時刻	備考
集合		8：30	出願者数により、受検者を2班に分け、班によって集合時刻・学校独自検査等開始時刻を変更する。
学校独自検査（口頭試問） ・面接		9：15～	

2 一般選抜

(1) 検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科	実施検査の種類と配点等				調査書成績	
	学力検査		面接	検査成績の満点	調査書において重視する教科（加重配点）	調査書成績の満点
	国語、社会、数学、理科、英語の5教科の満点	国語、数学、英語の3教科の満点				
国際科plus *	—	180 ※1	30	210	—————	135
国際科	300 ※2	—	—	300		

*印が付いている学科は、特色選抜による合格者数が募集人員に満たなかった場合、一般選抜を実施します。

※1 学力検査は、3教科（各50点満点）の合計点（150点満点）を1.2倍します。

※2 学力検査は、英語と数学の得点（各50点満点）をそれぞれ1.5倍し、国語、社会、理科（各50点満点）の合計点に加えます。

《調査書の特別な取扱い》

実施学科等	国際科
重視する事項	実用英語技能検定準2級以上相当（CEFR A2レベル）
合格人数枠	24名
満点	10点（調査書成績の満点：145点）

(2) 検査に関する事項

〔面接〕

個人面接：自己アピール文を基に、中学校での取組や高校生活への抱負、将来の希望などについて問う。1人5分程度。

西の京高等学校(全日制課程)

1 特色選抜

(1) 趣旨

【普通科（地域創生コース）】

本県の特色や地域の課題を探究することを通して、郷土への愛情と誇りをもち、積極的に思考力、判断力、表現力を身に付け、進学等の自己の進路を見通して、地域の活力を創造しようとする意欲をもった生徒を募集します。

(2) 募集人員並びに検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科 (コース)	募集人員	実施検査の種類と配点等			調査書成績	
		学力検査	面接	検査成績 の満点	調査書において 重視する教科 (加重配点)	調査書 成績の 満点
		国語、数学、英語 の3教科の満点				
普通科 (地域創生コース)	40名 (100%)	120	40	160	社会(45)、理科(15)	195

(3) 検査に関する事項

〔面接〕

個人面接： 地域創生コースの学習活動に関する理解や意欲、地域創生コースへの適性、表現力及び態度をみる。1人5分程度。

(4) 日程

令和2年2月20日（木）

検 査 等	時 間	時 刻
集 合		8 : 3 0
学力検査	各30分	9 : 1 5 ~ 1 1 : 2 5
(昼食)		
面 接		1 2 : 1 5 ~

2 一般選抜

(1) 検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科 (コース)	実施検査の種類と配点等				調査書成績	
	学力検査		面接	検査 成績の 満点	調査書において 重視する教科 (加重配点)	調査書 成績の 満点
	国語、社会、 数学、理科、 英語の5教科 の満点	国語、数学、 英語の3教科 の満点				
普通科（地域創生コース） *	—	150	40	190	—	135
普通科	250	—	—	250	—	135

*印が付いている学科（コース）は、特色選抜による合格者数が募集人員に満たなかった場合、一般選抜を実施します。

「普通科」は「普通科（地域創生コース）」以外の普通科を示しています。

◆ 第2志望の取扱い

- 順位を付けて2学科（コース）まで志願することができる学科（コース）の範囲
 - ・普通科（地域創生コース）、普通科
 - ただし、2学科（コース）で募集がある場合に限りです。
- 第1志望を優先する割合
 - ・全学科（コース）： 10割

(3) 検査に関する事項

[面接]

個人面接： 地域創生コースの学習活動に関する理解や意欲、地域創生コースへの適性、表現力及び態度をみる。1人5分程度。

1 特色選抜

(1) 趣旨

<p>【音楽科】 音楽に興味・関心をもって積極的に取り組む意欲、適性のある生徒を募集します。</p> <p>【美術科】 美術に興味・関心をもって積極的に取り組む意欲、適性のある生徒を募集します。</p> <p>【デザイン科】 デザインに興味・関心をもって積極的に取り組む意欲、適性のある生徒を募集します。</p>

(2) 募集人員並びに検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科	募集人員	実施検査の種類と配点等				調査書成績	
		学力検査 国語、数学、英語 の3教科の満点	学校 独自 検査	実 技 検 査	検査成績 の満点	調査書において 重視する教科 (加重配点)	調査書 成績の 満点
音楽科	各 100%	120	20	170	310	—————	135
美術科			—	150	270		
デザイン科							

◀ 調査書の特別な取扱い ▶

実施学科	音楽科
重視する事項	○ 芸術（音楽）の分野における顕著な実績（関西地区本選出場以上） ○ 中学校における吹奏楽部、コーラス部等の顕著な実績（県大会入賞以上）
合格人数枠	3名
満点	20点（調査書成績の満点：155点）

◆ 第2志望の取扱い

- 順位を付けて2学科まで志願することができる学科の範囲
 - ・美術科、デザイン科
- 第1志望を優先する割合
 - ・全学科： 8割

(3) 検査に関する事項

【音楽科】

[学校独自検査]

<p>独自問題（音楽）： 中学校音楽科の聴音についての学力をみる。 聴音： 旋律を聴いて書き取る検査 (調号1つまでの8小節程度の旋律の記譜)</p>

[実技検査]

I 視唱 楽譜を見て歌う検査（調号1つまでの8小節程度の旋律の視唱）

II 選択検査

次の1～5の中から1種目を選択する。1人6分以内。

1 声 楽

声楽を選んだ受検者は、次の楽曲の中から1曲を選び、暗譜で歌唱する。ただし、「帰れソレントへ」は、原語又は中学校で使用している教科書の日本語による詞のいずれかで歌唱すること。また、「Caro laccio」、「Nina」及び「Caro mio ben」については原語で歌唱すること。
なお、調性は指定しない。

[楽曲]

①	「荒城の月」（1番・2番）	土井晩翠	作詞	滝廉太郎	作曲
②	「浜辺の歌」（1番・2番）	林 古溪	作詞	成田為三	作曲
③	「早春賦」（1番・2番）	吉丸一昌	作詞	中田 章	作曲
④	「花」（全）	武島羽衣	作詞	滝廉太郎	作曲
⑤	「帰れソレントへ」（1番のみ）			デ・クルティス	作曲
⑥	「Caro laccio」			ガスパリーニ	作曲
⑦	「Nina」			ペルゴレージ	作曲
⑧	「Caro mio ben」			ジョルダーニ	作曲

2 ピアノ

ピアノを選んだ受検者は、次の課題A、Bの順に暗譜で演奏する。

A ハノン：ピアノ教則本第39番（スケール）及び第41番（アルペジオ）にある調号3つまでの長調・短調より、当日各一つを指定する。

（注）スケール（4オクターブを2回）、ガデンツ、アルペジオ（4オクターブを2回）の順に続けて弾くこと。ただし、短調のスケールは、1回目和声的短音階、2回目旋律的短音階を弾く。速度は♩=92以上、ペダルは使用しない。

B ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第1楽章または最終楽章。

（注）ただし、次の曲は除く。

Op. 27-2（月光）の第1楽章、Op. 49-1、Op. 49-2

3 管楽器

管楽器を選んだ受検者は、次の中から1つの楽器を選び、任意の練習曲又は独奏曲1曲を、無伴奏で演奏する。

フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ

4 弦楽器

弦楽器を選んだ受検者は、次の中から1つの楽器を選び、任意の練習曲又は独奏曲1曲を、無伴奏で演奏する。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

5 打楽器

打楽器を選んだ受検者は、次の中から1つの楽器を選び、任意の練習曲又は独奏曲1曲を、無伴奏で演奏する。

スネアドラム、マリンバ

○ 出願時に「奈良県立高円高等学校音楽科実技検査受検種目届出票」及び演奏曲の楽譜（書き込みのないもの）を提出する。

なお、出願後の種目及び曲目の変更は認めない。

○ 声楽、ピアノ、コントラバス、スネアドラム、マリンバ以外を選んだ受検者は、受検種目の楽器を検査当日に持参すること。

【美術科、デザイン科】

〔実技検査〕

- I 鉛筆素描：基本的な形の理解とその描写を中心とした内容。（80分）
 II 絵画表現：水彩による基本的な色彩の表現力を中心とした内容。（60分）

受検者は、素描に使用する鉛筆、水彩用具一式及び画板を検査当日に持参すること。

(4) 日程

【音楽科】

令和2年2月20日（木）

検査等	時間	時刻
集合		8：30
学力検査	各30分	9：15 ～ 11：25
学校独自検査（聴音）	20分	11：45 ～ 12：05

令和2年2月21日（金）

検査等	時間	時刻
集合		9：00
実技検査		9：45 ～

【美術科、デザイン科】

令和2年2月20日（木）

検査等	時間	時刻
集合		8：30
学力検査	各30分	9：15 ～ 11：25
（昼食）		
実技検査（鉛筆素描）	80分	12：20 ～ 13：40
実技検査（絵画表現）	60分	14：00 ～ 15：00

2 一般選抜

(1) 検査成績と調査書成績の取扱い等

学 科	実施検査の種類と配点等				調査書成績	
	学力検査		実技検査	検査成績の満点	調査書において重視する教科(加重配点)	調査書成績の満点
	国語、社会、数学、理科、英語の5教科の満点	国語、数学、英語の3教科の満点				
普通科	250	—	—	250	—————	135
音楽科 *	—	150	170	320	音楽 (15)	150
美術科 *			100	250	美術 (15)	
デザイン科 *						

*印が付いている学科は、特色選抜による合格者数が募集人員に満たなかった場合、一般選抜を実施します。

◆ 第2志望の取扱い

- 順位を付けて2学科まで志願することができる学科の範囲
特色選抜に準じます。ただし、特色選抜で第2志望が認められる範囲において、2学科で募集がある場合に限ります。
- 第1志望を優先する割合
・全学科： 10割

(2) 検査に関する事項

【音楽科】

[実技検査]

特色選抜に準じる。

【美術科、デザイン科】

[実技検査]

鉛筆素描：基本的な形の理解とその描写を中心とした内容。(80分)

受検者は、素描に使用する鉛筆及び画板を検査当日に持参すること。